

■ 説明会の記録

5. 福岡小学区

日時：平成 27 年 12 月 13 日（日）15：00～16：30

出席：76名（子どもを除く）



（説明会の様子）

■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(福岡小学区)

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	（統合後の）学校位置はどのように決めたのか。	教室数などの施設規模を考慮して決めた。
2	統合後の前に人口減対策を講じておくべきではなかったか。	具体的方策を出してこなかったことは申し訳ないと思う。
3	「学校と地域との関係の構築強化」とは、どういうことか。	子ども達のことを考え、地域の皆さんと一緒に考えた方がよいのではないか、ということで進めて行きたいと考えている。
4	文化拠点の学校を統廃合したうえで、「地域文化の継承」とはどういうことか。	廃校となる学校で取り組んできた行事などを、統合後の学校においても継続的に行えるようにすることを考えている。
5	財務省の教育予算削減案に市ものかって、統廃合を進めているのではないか。	そのようなことはない。子どもたちのために、ある程度の児童数を確保したいという思い。
6	大きい学校であれば良いということか。	大きすぎるのも良くない。18 クラスくらいまでが適性規模である。
7	（仮称）富士見ヶ丘小の開校に合わせるのか、目標年次までのあいだに統廃合を進めるのか。	統合の時期については具体的にはない。今後の話し合いのなかで進めていく。
8	平成 28 年度からの説明会までの間は、計画は進まないのか。	教育環境を整えていく責任は市にあることから、この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を、まとめたいと考えている。 今回の説明で実施が決定する訳ではなく、来年度以降、説明会を開催しながら、話し合いを進め、機運の高まり状況を確認しながら、進めていく予定である。
9	市民の意見もいれてくれるのか。	審議会の答申を基にし、アンケートも踏まえての計画案である。計画ありきで押し付けで統廃合を進めることはない。進める上で合意形成を図らないといけない。
10	（統合後の）具体的な人数	福岡小は、十数年後には 1 学年 10 人程度の規模になる。

	や規模は想定しているか。	谷原小や十和小は複式が発生してしまうので、3校が集まった学校規模が適性ということで、今回示した。
11	福岡地区は高台にある。水害などへの安全面をどのように考えているか。	常総市の水害も踏まえ、今後の計画の中で、安全対策について対応していく。
12	反対した場合は、福岡小が残る可能性はあるのか。	平成28年以降からは、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、それぞれの意見や要望をもらいながら、我々も意見に沿うように対応を考え、お互いに共通理解を持ち、話し合いを続けながら進めていく考えである。 反対や賛成の意見もあると思うが、それを解決していかないと前に進めないのので、話し合いをしながら進めていくことでご理解いただきたい。
13	旧地区のことは考えてくれているのか。	決して既存集落を軽視しているわけではない。本市は、児童数の急激な増加と減少によって学校規模のアンバランスが生じており、さらに今後もこの状況が続くと予想されている。通学距離や地域の生活圏等を踏まえると、市全体の義務教育の配置の見直しをする必要があると考えた。
14	(仮称)富士見ヶ丘小の学区について、どのエリアとなるのか。また、それはいつ頃発表されるのか。	学区の検討は、本年度中に学区審議会を開いて、(仮称)富士見ヶ丘小の学区を決める予定となっている。来年度そうそうに決定する予定。
15	陽光台小とそれ以外とでは、差が生じ教育差別が発生するのではないか。	そのようなことはない。子どもたちのために、ある程度の児童数を確保したいという思い。
16	みらい平の児童を既存小学校へ割振ることはできなかったのか。	市においても、学区割については、様々なパターンを考え検討してきた。「①みらい平に小学校を1校建てて小張小を活用する案。」「②みらい平に1校建てて、小張小と谷原小を使う案。」「③みらい平に2校として対応する案」など色々検討した。しかし、既存校の施設上のキャパシティやみらい平地区におけるコミュニティ形成の観点から難しいということになった。
17	(仮称)富士見ヶ丘小は陽光台小のような学校を造るのか。既存小学校の設備を充実させることが先ではないか。	建築費は35億円を想定。既存の学校も耐震工事など整備し、施設の改善も計画的に進めている。
18	(仮称)富士見ヶ丘小の建設費、35億円は税金か。	市が支出するということは、税金で建設することを意味していると理解されて良い。
19	(陽光台小の)吹き抜けの教育は本当に良いか。	この教室は、ハーフオープンと言われる形式。音は遮断しながら、風や採光は確保するしくみ。音楽はうるさいという意見もあるが、通常授業は問題ない。(仮称)富士見ヶ丘小はセミオープン(場合によって区切るタイプ)
20	中学校の検討状況を教えてほしい。	みらい平地区の中学校予定地があることを期待して来る方もおり、まちづくりの観点も踏まえ、引き続き検討していく。選択制について早急に学区制にしたい。
21	福岡地区の子どもは(仮称)富士見ヶ丘小に通わすことができるか。	指定された学校よりも近く、かつ安全に通うことができる場合、指定校変更という手続きにより通学する制度があり、この制度は今後も踏襲されていくものと考えている。
22	エリアの変更は行われないのか。	これまでの地域の歴史やつながりもあり、それを細分化するということは考えにくい部分もあることから、今回の枠組みについては、現在の学区の中で考えたものである。変更になる可能性はあるが、それは別の学区審議会において検討すべき事項となる。
23	学校に誇りをもってきた。	学校は、子供の学びの場のみならず、地域コミュニティの

	地域に小学校だけは残してほしい。	核としての役割もあることは理解している。ご意見として承りたい。
24	今後、保護者の意見を良く聞いてほしい。全保護者にアンケートをしてほしい。	ご意見として承りたい。ただ、計画策定にあたっては、20歳以上の一般市民の中から無作為抽出した方のほか、未就学児・小学生・中学生を持つ保護者全員を対象としたアンケート（計7,671世帯）を平成25年度に実施した。それらの意見を踏まえ、一般公募、学校関係者、議会の関係者、各PTAの代表の方による審議会において検討し、それぞれの所属組織において話を持ちかえていただき、内容をとりまとめ、答申としたものであることをご理解いただきたい。
25	福岡小に谷原小、十和小を統合させるべきだ。	ご意見として承りたい。しかし、今回お示した計画（案）は、施設上のキャパシティだけでなく、様々な視点で子ども達のためにとって適切な教育環境を考えてまとめたものである。このことはご理解いただきたい。
26	説明会は既定方針ができる前にやるべきではないか。	ご意見として承りたい。教育環境を整えていく責任は市にあることから、この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を、まとめたいと考えていることをご理解いただきたい。
27	福岡地区で説明会をやれば意見が聞けたと思う。	ご意見として承りたい。今後実施する際には、説明会の開催場所については配慮していきたい。
2. 通学路について		
1	距離基準の3kmの区分けは、直線か通学路で違うのか。	現在行っている3kmを基準として通学支援を行うとともに、徒歩で通う児童については、安全な通学路を通っていけるよう、危険箇所の点検や通学路の整備を早期に進めていきたい。 統合が決定した場合、次の段階として統合準備委員会が設置される、その中で通学路の安全対策についても話し合い、現地を点検・確認するなどして安全確保に努めていきたい。
3. 情報公開について		
1	統廃合の検討について、情報格差がある。議事録は公開されないのか。	今後、保護者と一般の方の間に情報格差が生じないように、議事録の公開は早急に対処したいと考える。
2	過去の話し合いの内容は情報公開されないのか。	検討過程の段階であったため、説明会の前には情報公開することが難しかった。ご理解いただきたい。
4. その他		
1	次回はいつ頃実施を予定しているか。	平成28年度4月以降、実施の準備をし、進めさせていただきたいと考えている。
2	今回の説明会は平日が多かった。できれば土日にしてほしい。	ご意見として承りたい。今後実施する際には、開催日については配慮していきたい。